

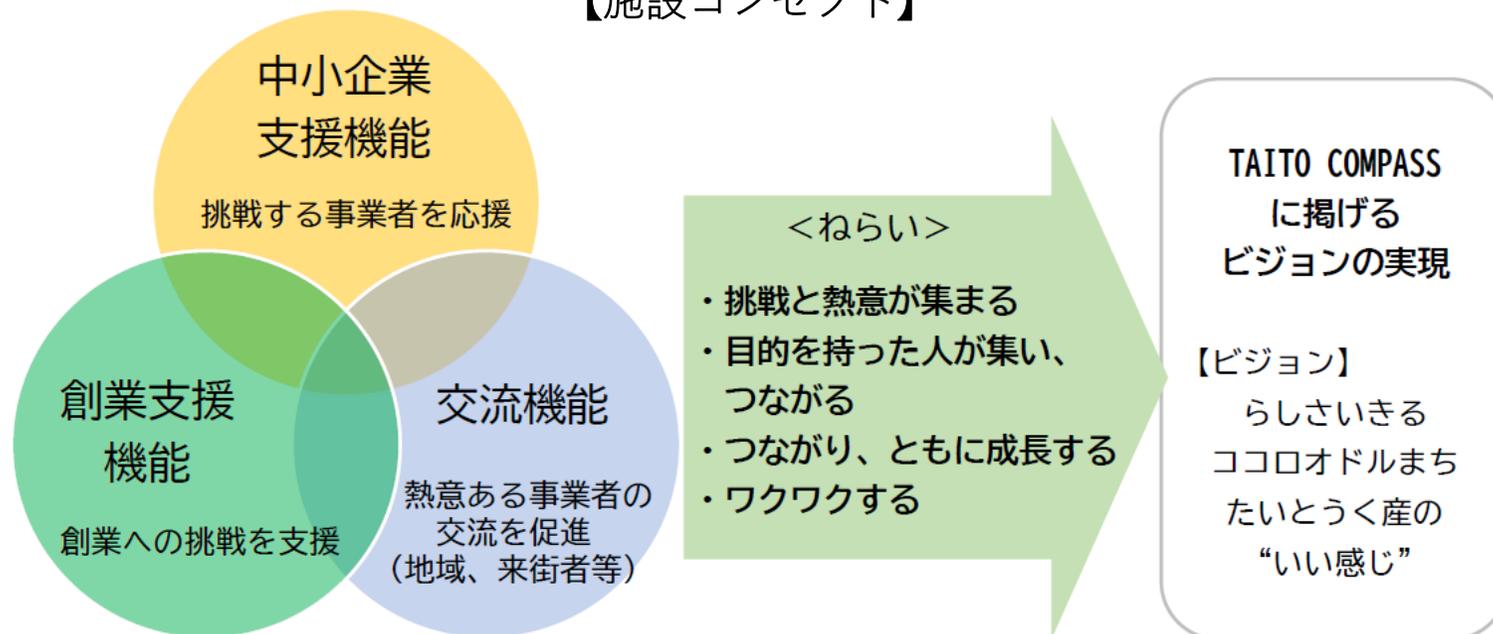
リニューアル後の中小企業振興センターの概要

台東区文化産業観光部産業振興課

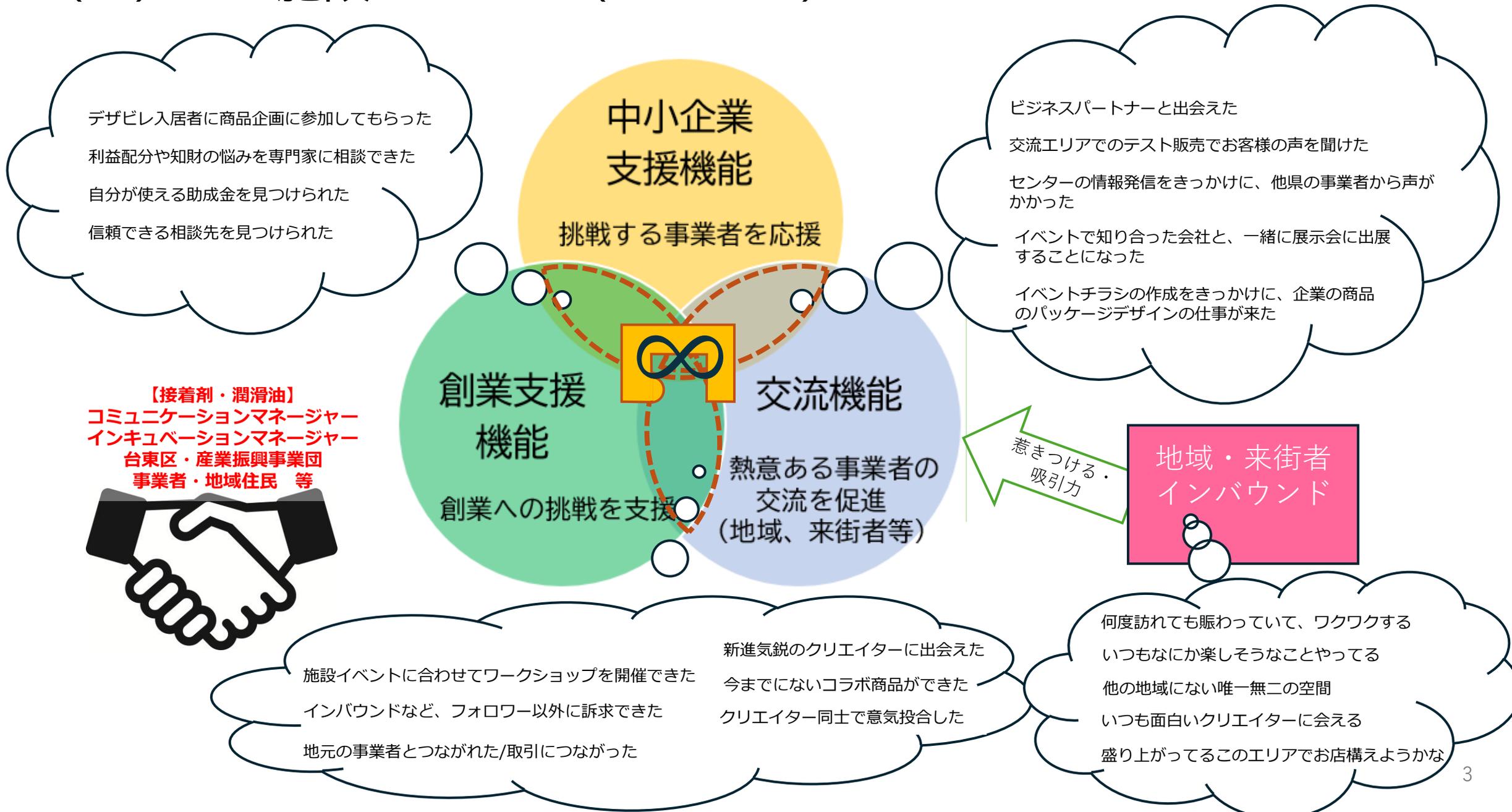
1 リニューアル後の中小企業振興センターの機能構成

機能	概要	既存施設
①中小企業支援機能	<ul style="list-style-type: none"> 区内中小企業を支援するため、中小企業診断士による相談、助成金、セミナー等を実施 融資相談、融資あっせんを実施 	中小企業振興センター (公益財団法人 台東区産業振興事業団等)
②創業支援機能	デザイナー・クリエイターの創業支援施設	台東デザイナーズビレッジ
③交流機能	事業者等の事業活動を通して、様々な交流を育む場とする	新規
カフェ	施設への集客や施設の利便性向上、各機能の相乗効果を図るとともに様々な関係者の接点の場とする	新規

【施設コンセプト】



(1) この施設のねらい (イメージ)



(2) TAITO COMPASSに掲げるビジョン

らしさ いきる ココロオドルまち
たいとうく産の“いい感じ”



“いい感じ”ってどんな感じ？

「売上が上がった（下がった）」などの一面的な見方ではなく、経営者の想い・考えを含めて、「一時的に売上は下がったけれど、自分が本当にやりたいことができている」などの多面的な見方で「プラス」と捉える考え方です。

また、それぞれの事業者が“いい感じ”になるだけでなく、他者から“いい感じ”と思われる状態も含まれます。

そんな、それぞれが考える“いい感じ”の状態を指します。

Vision (台東区産業の実現したい未来)

台東区は、上野や浅草、谷中などの各地域が特色を持つとともに、確かな技術に裏打ちされた地場産業や伝統工芸など、多種多様な産業が集積しています。

さらには、事業者の多彩な個性が、活気とにぎわいを呼び、まちの魅力となり、台東区「らしさ」を形作っています。

これらの「らしさ」は世界に誇るものであり、多彩な「らしさ」に人々は惹きつけられています。

ここは、事業者の本気の想いが、集まり、つながり、にぎわい、事業者も訪れる人も、誰もが心が動きワクワクするまち！

そんなまちから、それぞれの事業者の“いい感じ”がうまれ、ひろがり、たくさんの“いい感じ”にあふれ、台東区が盛り上がっています。



(3) TAITO COMPASSの体系図

Vision を実現するためのなすべきこと 3つの Mission と 10個の Action



Mission 1 らしさみがく (まちの価値と魅力を高める)

まちの成り立ちを知り、特色や強みを理解し、地域にあるさまざまな魅力に気付き、活かすことで、「らしさ」は更なる強みとなります。多彩な「らしさ」をみがくことで、輝き続けます。



Action

- ① 地域資源を活かす
- ② 誰もが知る「ものづくりのまち」へ
- ③ 伝統工芸を次代につなぐ
- ④ 地域とともに成長する商店街に

Mission 2 おもいひろげる (想いを形にする)

事業者の挑戦、志、悩み、葛藤などの想いを行動に変え、成長につなげます。また、本気の想いが重なり広がることでシナジーが生まれ、にぎわいにつながります。



Action

- ⑤ 経営を強くする
- ⑥ 起業・創業への挑戦
- ⑦ “同志” とつながる

Mission 3 未来につなぐ (時流を捉え変化に適応する)

環境の急激な変化にも適応し、強い経営基盤をつくり、事業者の想いや技術を次代につないで、「輝くらしさ」「広がるおもい」を未来につなぎます。



Action

- ⑧ 時代の変化に適応する
- ⑨ 事業者の想いや技術をつなぐ
- ⑩ 担い手の育成



らしさを守るココロオドルまち
たいとうく産ついい感じ!

イラストに隠れた文字を探してみよう!

2 リニューアル後の中小企業振興センターの各機能について

①中小企業支援機能について

(1) 中小企業振興センターの現状

項目	事業概要	参考資料
商工相談窓口	<ul style="list-style-type: none">・ 中小企業の経営課題に関する相談窓口を設置・ 相談員は中小企業診断士を配置 ※相談窓口の他にも、各支援機関と連携し総合的かつワンストップの相談対応を行う、ビジネス支援ネットワークを構築	産業振興事業団HP https://taito-sangyo.jp/
助成金	区内に事業所がある中小企業を対象に以下の助成事業を実施 <ul style="list-style-type: none">・ 新市場開拓支援、商品プロモーション支援、知的所有権取得支援、職場環境等向上支援、人づくり支援、小規模事業者事業承継支援、経営デジタル化支援	別添資料2：中小企業支援事業パンフレット
セミナー・交流会	女性創業者・メンター交流会、したまちTAITO創業塾、若手経営者サポートセミナー 等	
勤労者サービスセンター	区内中小企業の事業主、従業員への福利厚生サービスを提供	
融資相談・融資あっせん	<ul style="list-style-type: none">・ 専門相談員による融資相談を実施・ 融資あっせん ※区内中小企業の様々な支援をワンストップで提供するため、中小企業振興センターに台東区の融資窓口を設置している	台東区HP（融資） https://www.city.taito.lg.jp/bunka_kanko/jigyokeiei/yusijoseikin/index.html

(2) ねらい

中小企業支援機能を、創業支援機能及び交流機能と有機的に連携させ、機能の効果を最大化していく

②創業支援機能（台東デザイナーズビレッジ）について

（1）台東デザイナーズビレッジの事業概要

項目	内容	参考資料
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開設 2004年4月 ・アトリエ 19室（面積約20～40㎡） ・使用料/共益費（29,000円～43,000円） ※東京都台東区立台東デザイナーズビレッジ条例 	台東デザイナーズビレッジHP http://designers-village.com/
入居条件（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・靴、鞆、バッグ、ベルト、帽子、アクセサリ、ジュエリー、アパレル等のファッション関連産業、及びデザイン・コンテンツ関連産業に携わるデザイナー等であること。もしくはファッション関連産業やデザイナーを支援する業務を行う者等であること。 ・台東区内で創業を予定している、または創業5年以内（入居時点）の者であること。 ・ビジネスを拡大する意欲が高く、また創業のための支援が必要と認められること。 ・台東区内の産業や地域の活性化に寄与する活動を行う意欲があること。 ・施設の利用期間終了後、台東区内において引き続き事業を行う意思を有すること。 	別添資料3 施設案内パンフレット 別添資料4 令和6年度入居者募集要項
支援内容	<p><経営やビジネス等に関するアドバイスの実施> インキュベーションマネージャーによるマーケティング分野の相談、必要に応じて商工相談員などによる経営や税制等の専門的な相談</p> <p><地場産業との連携による創作活動のサポート> 入居者と地元企業との連携を図り、受発注や人脈形成、経営活動の拡大等を支援</p> <p><セミナー等の開催> ファッション・デザイン業界の方を講師に招き、セミナー等を定期的で開催</p>	別添資料5 インキュベーションマネージャー業務委託仕様書 別添資料6 台東デザイナーズビレッジ収支
実績	<p>131社が卒業（R7.3月末時点）。そのうち約半数が区内で創業し、約40社が現在も区内で事業を継続。卒業生ブランド等がファッション業界で活躍してきたことで、高く評価され、平均入居倍率約6倍という全国で有数の人気創業支援施設となっている。</p> <p>また、2011年に始まった「モノマチ」はデザビレの施設公開に合わせて、デザビレ卒業生の店舗や近隣の企業が中心となってスタートしており、「ものづくりのまち台東区」を地域とともにPRしている。</p>	

②創業支援機能（台東デザイナーズビレッジ）について

(2) ねらい

項目	現状と課題	ねらい
区内定着	ほとんどの卒業生が区内定着意向があるものの、条件に合う物件が少なく、区内定着が難しくなっている。（これまで卒業後、約半数が区内で創業）多くの卒業生がデザイナー・クリエイター等定着支援事業（家賃支援）を利用している。	入居期間中や卒業後も地元企業とのつながりを作れるよう取り組んでいく。地域のみならず、業界や産地も含めた関係人口を増やしていく。（地域イベント参加、活動の場の提供、産地ツアー）
入居者	アパレル、ジュエリー、アクセサリ、バッグ、帽子、小物等のファッション関連産業、デザイナーが中心。同業種が集まることによるメリットがある一方で、入居者同士の交流による新たな価値創造が限定的となっている。	「デザイン」という軸は変えず、入居対象業種を拡大していく。
セキュリティの管理	現在の施設は、入居者のセキュリティ確保、良好な創作活動環境維持、入居者のアイデア保護のため、平時は入居者や関係者しか入れない管理としている。（入居者等のオープンアトリエや販売会等のイベントの際には、一般の方の出入りが可能）	リニューアル後もデザイナーズビレッジのエリアは入居者専用フロアとして、現在の管理を継続予定。
入居者の事業活動・施設の公開	現在の入居者は、BtoBからBtoCにシフトしており、POPUPやSNS等で顧客とつながり、オープンアトリエや、同施設ショールーム等での展示販売会、交流イベント等を実施しているが、同施設内でのイベント時には集客に苦労している。また施設全体のイベントは、年1回のイベント（施設公開）のみである。	施設1階等の交流機能をオープンなエリアとし、多様な事業者が活発に活動することで、人の流れを作る。また、入居者と顧客・来街者とのタッチポイントを増やしていく。また施設全体のイベント数を増やすことを想定
卒業生とのつながり	周辺に多くの卒業生が定着し、施設公開時には卒業生の販売会を合わせて実施すること等により、卒業生と入居者が交流している。卒業後の地域貢献（還元）の仕組みとして、区内定着だけでなく、卒業生との関わり方を検討する必要がある。	引き続き交流を図るとともに、卒業生にメンターとしての役割を担ってもらう。
入居者以外の創業支援	入居者はもとより、入居者以外のクリエイター等を対象にセミナーを実施してきた。 入居者以外へのアプローチにより、台東区で創業したいと思える機運醸成を図る必要がある。	入居者以外の方が参加できるセミナー等を実施するとともに、交流エリアでの事業活動の場を提供し、デザビレの将来の入居希望者や台東区での創業希望者を支援する。

③交流機能について

(1) ねらい

TAITO COMPASSのアクションに「同志とつながる」「経営を強くする」を掲げており、交流機能と中小企業支援機能、創業支援機能を有機的に連携させ、この施設を起点として事業者が活動を広げ、地域経済の活性化を図ることを期待している。また、事業活動の場として使用できる交流エリアを新たに整備するとともに、コミュニティマネージャーの配置を想定しており、「コミュニティマネージャー」「台東区」「産業振興事業団」「デザビレインキュベーションマネージャー」「事業者」「地域」が一体となって、企業間や地域とのつながりを強化することで、新たな価値創造やビジネスチャンスの創出につなげていく。

Action ⑦ “同志” とつながる

こうありたい未来

さまざまな出会いが
成長につながっている



想いが掛け合わされ
可能性が広がっている

夢を語り合い
一緒に歩める仲間がいる



挑戦と熱意が集まるまち

Action ⑤ 経営を強くする

こうありたい未来

事業者の強みを魅力に変え
輝きを増している



モヤモヤを気軽に
相談できる相手がいる

成長を支える
パートナーがいる



更なるチャレンジが
生まれるまち

【参考】 交流機能における事業活動の場のイメージ

- 区内事業者の事業活動の場として、スペースを貸し出す
- 入場料等を徴収するイベントや物販を可とする。
- 使用料は有料とする（入場料等を徴収するイベントや物販等の事業活動の場合、料金の割増を想定）
- 想定される利用イメージ

区内事業者の事業活動（テストマーケティング、販売促進PR、地域貢献 等）
台東デザイナーズビレッジ入居者・卒業生の事業活動（展示販売会、交流会 等）
芸術分野での展示会等
複数事業者が集まる展示会やイベント
地域のお祭り
地域活動 等